

第1回とよがわ流域県民セミナーにおける質疑応答について

質疑応答で取り上げた質問と回答については、議事録を確認ください。取り上げられなかった質問で講師の先生から回答していただいたもの、取り上げた質問で講師の先生から追加の回答をしていたいたものについて下記に掲載します。

【藤田講師に関する質問】

質問内容	回答
豊川は「特異な川」といいましたが、どういう風に特異なのですか、具体的に示して下さい。ダムと関係ない話ばかりでした。あなた自身、設楽ダムをどう捉えているのですか？	今回、私に依頼されたテーマは、東三河の特性を広く知ってもらおうという点にありました。一種の序論です。豊川については私の『生きている霞堤』(あるむ、800円)をお読みください。

【蔵治講師に関する質問】

質問内容	回答
p23 水を消費しないタイプの森林とは、具体的にどんな森林で、1km ² を整備するのに、どのくらい費用が掛かるのか。又、その1km ² の森林の効果(収入、水の増加量)はどのくらいか。	水を消費しない森林とは、木が疎らにしか生えていない森林です。費用は一概には言えませんが、場所によっては伐った木材を販売して黒字になる可能性もあります。水の増加量についてはスライドに一例として年300mmを示しています。
一つの集水域(流域)だけでの「健全な水環境の再生」は可能か。豊川流域は天竜川流域や矢作川流域、さらには木曾川流域の連携を強めてこそ、水環境の確立がはかれるのでは？とくに、新たるダムをつくらないためには、横断的な水ゆうずうが今よりもやりやすいシステム(法)をつくる必要があるのか。	自然状態では別々の複数の川をつないで人為的に水をやりとりすることは、まさに人工的で不健全な水循環であり、健全な水循環とはいえません。一つの川の中で、例えば使っていない農業用水の水利権を水道用水の水利権に融通しやすくするシステムを作ることは、健全な水循環に寄与します。
集水域管理について 人類は河川の近くで発達してきた歴史があり、その結果が現在の状況である。既に土地利用・経済などの既存の状況がある中でどのようにして集水域管理を実践するのかその具体像が見えない。大変難しいマネジメントになると考えるが、実行は可能なのか。実施例を示してほしい。	実施例として、「治水」については兵庫県、滋賀県、「利水」については福岡市を示しました。世界には他にもたくさんの例があります。

<p>愛知目標4 流域圏の環境容量の中での流域圏の生物多様性の保全、持続的利用を図る。P21の不健全な水循環の例は、流域圏の環境容量を越える開発をしたものと思われます。豊川流域圏では海への影響が顕著にでていまして、すみやかに、p22の健全な水循環の再生を図るべきではないでしょうか。</p>	<p>私は一般論を説明したのみで、豊川流域の個別の問題については、今後のセミナーで議論されるテーマです。</p>
<p>ダムを建設すると、どうしても不健全な水循環になり、自然への影響が心配されますが、何か対策はありますか。</p>	<p>ダムについての一般論は、次回のセミナーのテーマとなっています。</p>
<p>豊川流域に本当に水は不足しているのですか？</p>	<p>私は一般論を説明したのみで、豊川流域の個別の問題については、今後のセミナーで議論されるテーマです。</p>
<p>豊川流域について水には限界があると思っています。今以上の水の利用増は環境を今以上に悪くすると思います。企業誘致、人口増は慎重にすべきと思いますがどうでしょうか。</p>	<p>私は一般論を説明したのみで、豊川流域の個別の問題については、今後のセミナーで議論されるテーマです。</p>
<p>人間の住んでいない頃の自然が一番良い事だという決めつけで話をされていましたが、自然をさわるといふ事では人間のエゴの部分もあるとは思いますが、あまりに人間の事、人間の為という視点が欠けていませんか？</p>	<p>人間の住んでいない時代の自然が一番良いとは決めつけていません。人間の都合で自然を改変することは、ある程度は必要だと考えています。</p>
<p>①福岡市の節水推進条例の内容を押して頂けるとありがたいです。 ②COP10愛知ターゲットの目標に関して、設楽ダム建設予定地および三河湾への設楽ダム建設が与える生物多様性への影響についての先生の見解を伺えると幸いです。</p>	<p>①市民、事業者、市の責務を定め、節水対象の大型建築物を建築する場合に、建築主は雑用水道を設置することとし、市は漏水防止、配水調整、節水意識の啓発、節水方法及び貯水利用等水源に関する情報の提供、漏水対策時の節水協力要請等行うとともに、水源地域や流域との連携、水源かん養機能の向上、雨水の貯留・浸透による地下水涵養、下水処理水の利用など健全な水循環系の構築を図るものです。 ②一般に河川を横断するダムを建設すれば、河川の水、養分、土砂等の連続性を切断することになり、自然生態系が変化します。その変化をどう評価するかは、価値の問題です。私は、運営チームメンバーとしての立場上、個別のダムに対する個人的な価値判断を示すことは、現時点では差し控えます。</p>
<p>森は海の恋人とか森は海の宝物と言われる地方もありますか。森が海に対する良い所。</p>	<p>森と海との間での直接の相互作用というものはなく、川を経由して間接的に相互作用していると考えます。</p>

第1回とよがわ流域県民セミナーにおける振り返りシートに寄せられたご感想・ご意見について

振り返りシートに寄せられたご感想・ご意見について、下記に掲載します。

【講演に関するご感想・ご意見】

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>(藤田氏) 川の文化圏についての突っ込みが欲しかった。</p> <p>(蔵治氏) 森林は水の消費者→納得しました。 我裏山でも幼少の頃より植生がガラリと変わり、3年前に土石流発生、椎の木が繁茂し、外から見ると昔の灌木林が見事な緑の山に変化した。実態は山の水は枯れて、イシモチソウ、モウセンゴケはなくなった。 講義は大変よかった。</p>	-
<p>蔵治先生の講演は大変参考になりました。 特に成長した森林が水を消費していることについては、目からウロコです。 故郷奥三河は、水量の多い地域で、子供の頃は川で遊ぶのが恐かったのが、最近の川は流量も少なく、沢と呼ばれるところは、水枯れも目立ちます。当時、植林が盛んで、それから40～50年経ったことの影響が出ているのでしょうか？</p>	<p>【蔵治講師】 はい、そう思います。植えた木の「水の消費量」が年々、増大し、その分だけ、沢に流れ出る水量が減ったと考えます。植林した木を伐っていけば、沢の水量は増加すると考えます。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・集水域管理という言葉をおぼえました。 ・植林で川の水が減るとは思ってなかった。 ・これからどういう内容になるか気になります。 	-
<p>東三河のことがよく理解できました。先生の講演のおかげで地域のIDを再発見できました。</p>	-
<p>地学、環境について学習機会が多く、関心を持っていますので、今回の内容はあまり深まらなかったです。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>マイクが悪いのか、使い方が悪かったのか、聞き取れない。残念であります。 水の大切さ 水との関わりを自然の中で十分感じ、上手につき合っていくことが大切です。そのためダムとの必要性と有限である水を有効に利用し、自然に返すように周知を図る。</p>	-
<p>蔵治先生は、ダム反対派の思想が強い(本日の話)。 反対を前提にしたメンバーで選定するならば、賛成するメンバーを選ぶべき もっと客観的に述べるべき ※なお、森林は洪水を防御する機能は全くない。考えなおすべきだ。(時間雨量50mm/hが4時間～6時間続いたら、森林や土壌は飽和状態になって、降った雨は表面をそのまま流出する事実をきちっと見て欲しいし、間違っただ話をしないで欲しい。</p>	<p>【蔵治講師】 メンバーの選定は、運営チームの責任で行っています。少なくとも私は、すべてのダムに対して反対するような極端な意見は持っていません。 森林が洪水を緩和する機能に対しての現時点での蔵治の見解は、拙著『森の「恵み」は幻想か 科学者が考える森と人の関係』第3章をご参照ください。なお、現在、研究が進んでおり、新しい知見を示していきたいと思っています。</p>
<p>これからの議論の深まりに期待しています。</p>	-
<p>あまりに盛りだくさんの内容のためか、講演のお話のペースが速すぎ、わかりづらかった。 藤田先生は、マイクにお声が入っていませんでした。 ディスカッションのお話は分かりやすく、楽しかったです。</p>	<p>【藤田講師】 歩きながら話したのでマイクが離れてしまったかと思います。ごめんなさい。</p>
<p>健全な水循環の再生の話、大変興味深かったです。出来る限り自然の状態に戻った川の姿、森の姿を見たいと思っています。</p>	-
<p>蔵治先生の講演良かった。 今後のダム検討で、この大局観を関係者共有し、一部の利害にとらわれない共鳴できる結論を導いてもらいたい。</p>	-
<p>蔵治さんの森と水のこれまでの思い込みを正す話はよかったです。</p>	-
<p>講演時間が短すぎて、理解が深まらない。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>講演の時間が少なく、先生方の話がかなり「かけ足」になり、理解するのが難しかった。</p> <p>せめてお一人50分～60分は必要では？小学校の授業より短い。</p> <p>※豊川流域の水事情が最近良いのは、調整池の整備、大島ダムによるのではないのでしょうか。天候頼みばかりではないと思いました。</p>	-
<p>参加者から質問シートを提出してもらおう際に、「セミナー」であるので、現在の設楽ダムに関する知見で考えられることを、各人の意見を書いてもらった方が良いと思う。その中で、「セミナー」に期待している部分が何なのかを明確に示してもらおう。</p> <p>話の内容については、非常に興味深かったです。</p>	-
<p>設楽ダムの理解の為に、関連する様々な事柄を先ず理解する必要があります。今回は、第1回ということで、設楽ダムに固執しないダム論・ダム像の説明をいただき役に立ちました。ただ、自然への影響については、ますます危惧を抱いた気がします。森林の保水力は勉強になりました。</p>	-
<p>「健全な水循環」という考え方はいいと思います。木を植えることが逆に川の水の減少につながる事があり得るとい講演は興味深かった。適正な植林の方策が検討されるべきと思います。</p> <p>先進事例として「アメリカではもはやダムの時代は終わった」と言われているが、日本はすでに3,000ものダムが造られ続けてきた。国土の狭い国で、しかも人口減少社会で、問題が多い。ダムよりも新エネルギーの取り組みとか、新たな方策を検討する時期ではないでしょうか。</p>	-
<p>第1回講座としての内容としては、最適だった。</p> <p>内容の濃い講座を希望する。</p>	-
<p>時間が短く、発表者の方の思いが正確に伝わったかなと思います。</p> <p>幅広い情報提供として話をされましたが、少し乱暴なこともあったと思います。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>質問を取り上げいただき有難かったが、講師の解答はまとはずれだった。ズレている。再度質問したくてもその時間がない。</p> <p>講師の人選はむずかしいと思われるが、地理学の先生が流域について十分理解しているとは思えなかった。ふさわしい人を選んで欲しい。</p> <p>(例)「設楽ダム周辺地は、地盤が硬く、ダムが土砂で埋まることはない」と言われたが、これはあきらかな誤り。特にダム周辺部の岩石が花崗岩というのは誤りで、真実は亀裂だらけの片麻岩。またダムサイトやダム湖近くに多くの断層があり、山崩れの心配は国交省も認めている事実。これも知らずに、ダム安全論を展開されたが、知らないこと(専門外)は言わないで欲しい。</p>	<p>【藤田講師】</p> <p>今回の発表は広く県民の方々に豊川流域を知ってもらうための基礎的流域特性を話したもので、ダムに関する話は直接していません。しかも、豊川の特性を知っている方々は少ないと思われ、ダム問題も、他の河川並みでなく、豊川の特性と治水のあり方を考える必要性を示したものです。また東三河のあり方については、中核の豊橋、そして渥美、奥三河について、その整備の方針を示し、多くの方々の理解を得ようとしたものです。そこであえてダム問題との関係からいえば環境面だけでなく、これからの地域整備のあり方の中でのダム問題を議論してほしいというための提示でもありました。</p> <p>ダムを建設するなら、脱原発や小水力エネルギー発電も視野に入れたより将来を見据えたあり方が必要で、日本の最先端的存在として工夫すれば、山間地域を含む流域全体の構築への展望につながる可能性もあるでしょう。また、ダム反対ならそれに代わるべき地域整備のあり方と水没地域が具体化している現実への対処と責任も問われることになると思います。</p> <p>質問者は、その内容からしてダム反対の立場だと思えます。運動家と研究者の成果とは知の境界があり、直接的にはつながりません。恐らくは、私の発表内容がダム反対の立場からは不都合だったのでしょう。都合の悪いものはすべて消せというのは強度なイデオロギーの圧力を感じます。</p> <p>最後に、地理学は人文と自然の関係も扱う古代ギリシャ以来の面白い学問です。この機会に、是非アクセスしてみてください。</p>
<p>蔵治先生の集水域・水循環の再生などの一般論は参考になる。すばらしい視点をいくつも含んでいると思います。</p> <p>しかし、ここ東三河、とくに豊川をどう考えるかという具体的な議論をしっかり時間をとっていただきたい。</p> <p>その現実的な、具体的な話が少なかったことが大変残念でした。</p> <p>次回以降に期待したいと思います。</p>	<p>-</p>
<p>時間が短く、説明がし尽くせないのか、十分理解できないことが多く、せつかくの場が不十分なものとなった。</p>	<p>-</p>

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>このような講座はなかなか結果、結論の出るものではないのですが、いかに一般市民に広報していくかが重要かと思えます。 学者だけでなく、産業界からもパネラーを出して下さい。</p>	-
<p>洪水や渇水を受け入れる考えは必要だと思う。 自然から見れば、不健全な川かもしれないが、水利用の面から、大洪水、大渇水の面からはダムは一定の効果あげている。 産業、人命、財産の維持、保全の面から見たダムの位置付けについても、もう少し触れてもいいと思った。 設楽ダムの連続講座の中で(設楽ダムを考えていこうという初回に)、ニュートラルな市民に対して「ダムが悪い」という考えをうえつけてしまわないか心配です。</p>	-
<p>講演時間が30分と短く、内容が理解ができなかった。 特に藤田先生の講演では、豊川流域の地理的特徴と霞の生成過程並びに吉田城下町の恩恵の話詳しく聞ければ良かったと思います。 又、蔵治先生が若干触れておりますが、地質と流量が人間生活(農業基盤や洪水等)に与えた影響を説明していただけるとよかったです。</p>	-
<p>藤田先生のお話が、ボリュームもう少し大きいと良かった。 蔵治先生のお話は分かりやすく良かったと思います。 自然への人間の干渉はやはり少ない方が良いと思います。ナショナルミニマムとしても、過大に自然破壊すれば人間への悪影響があり問題である。</p>	-
<p>藤田先生の講演は話声が小さくて残念でした。 しじみ汁は美味しかった</p>	<p>【藤田講師】 歩きながら話したのでマイクが離れてしまったかと思います。ごめんなさい。</p>

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>今回は第1回目だったので、全体の紹介で良かったと思います。 ヤマトシジミのみそ汁とおにぎり、美味しかったです。ごちそうさまでした。 講演の範囲が広すぎるのか、せっかくの話が早口の説明で、私は東三河の地名も分からないので、今後、大きい声でゆっくり説明して欲しいです。 蔵治先生の話をもっと聴きたいと思いました。</p>	-
<p>藤田講師の質問への回答のうち、いくつかの大きな疑問のある内容が含まれていた。一つは、宇連ダムに治水機能があるような誤解を与える発言があった。「鉄砲水を貯めるには、宇連ダム…」という部分は何らかの訂正があつてしかるべきではないか？ 関連して、豊川の集水域全体が、浸透性がないとの先入観を植え付けてしまう恐れがある発言があった。豊川の2大支流のうち、寒狭川(豊川本川上流部)は、領家変成岩で深部まで割れ目が発達しており、浸透性は高いと思われます。もう少し精密な論理だてで報告していただきたい。 中央構造線が流通の大きな幹線として機能していたことの指摘は参考になりました。 蔵治さんのまとめにありましたが、海を養う川、川を養う集水域という視点が、紹介されたことは良かったと思います。</p>	-
<p>1「設楽ダム連続公開講座」のねらいは？ ①どこかに「ねらい」が公開されていますか？(HPなど) ②今更に「ダムの可否」の討論ですか？ ③もし、本当に「可否」の議論をしたいのであれば、賛否両論の兆大かつ詳細な情報提供を ④賛否両サイドの意見を、選挙などの“民主主義”的選択の手段を経て決めるようにオネガイ！</p>	-
<p>蔵治講師の話は大変有意義でした。謝る事無い！！頑張ってください。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>豊川流域について、高々3時間では！短すぎるのでは？ ダムに依存しない、ため池、地下水、伏流水の利用の可能性について見解を頂きたい。 人工林が多いことが流量減少の原因とのこと。蒸散をイメージすることにより理解が深まりました。ありがとうございました。 森と緑づくり税を活用した間伐が進むことを期待します。</p>	-
<p>マイク音量小さいので、大きくしてほしい。(藤田先生) 質疑応答は丁寧でよかった。</p>	-
<p>蔵治先生の講演で、水不足の原因、森林(水源森)(保護?)整備の大切さがわかりました。上流・下流の前に人として、先をみて持続可能な取り組みが仕組み作られればと思いました。</p>	-
<p>各講師の視点の違いが大変参考になりました。 自然と折り合いを付けて、バランスを崩さない様な人間の行動が大切かと思えます。</p>	-
<p>設楽ダムの利水、治水面上における具体的な効果が今後示されると思うが、霞堤の機能保存前提ではなく、豊川全体で最大流量を確保する手段は無いのかと思います。</p>	-
<p>大体これまでの知見の範囲でした。 次回以降に期待です。</p>	-
<p>それぞれの先生方の時間が足りなかったと思います。 次回以降に期待したいと思います。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>蔵治講師の講演について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総論として、概ね理解できるところもありますが、具体論として直接の利害が発生する場合(生命、財産(利水によるものも含む))には、特に東三河の人間として受け入れるのは難しいと思われます。 ・どこの川でも洪水(=水害のない流量の大きい状態でしょうか?)、渇水(=水不足のない流量の小さい状態でしょうか?)のない状態を目指しているわけではないのでは?例えば、ダムがあってもある程度の降雨により発生する流量は流しているのではないのでしょうか。 ・水の収支について、引き続き定量的なデータや解析を進めていただきたいと思いますが、例えば、水害が発生するような洪水に対し、森林により具体的に流量をコントロールするのは難しいと思います。このことについて、講師の説明がどうこうということではなく、一般的に誤解が生じている部分だと思いますので、その旨の説明をしていただければ、より一般の方への理解が深まったと思われます。 	<p>本日の講演は総論を理解していただくために行ったものです。</p> <p>人間の都合の実現のための河川の管理が、どのような状態を目指しているかは、各河川によって異なると思います。</p> <p>森林が洪水を緩和する機能に対しての現時点での蔵治の見解は、拙著『森の「恵み」は幻想か 科学者が考える森と人の関係』第3章をご参照ください。なお、現在、研究が進んでおり、新しい知見を示していきたいと思っています。(蔵治先生)</p>
<p>①生態水文学は知らなかったが、蔵治先生の集水域の話はわかりやすくよかった。その再生が、地域再生の根本的なカギになると思った。大村知事にも是非聴いていただきたいかった。</p> <p>②宇連ダム、大島ダム、調整池には治水機能はないので、大雨時で満水時には、その放流によって洪水を引き起こしている。また、近年10年余の水余りは、豊川総合用水が完成したからであると思うが、藤田先生の質問に対する回答には、事実誤認があるように思われた。</p> <p>③霞堤を生かすという方向での検討が必要というのは正しいと思う。</p>	
<p>大変聞き取りにくい。 地域の話をするのだからもう少しわかりやすい話を導入してほしい。(若い人がきいても理解できるものとしてほしい。) 活気のある会にしてほしい。 資料の字が小さくわかりにくい(誰かチェックして公表してください。)</p>	

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>藤田先生の講義では、豊川や豊川流域について、地質、文化など幅広い視点からお話を聞くことができました。</p> <p>蔵治先生の講義では、水循環について具体例を交えながらお話を聞くことができました。</p> <p>両先生のお話とも非常に参考になりましたが、本日の講義のセミナー全体での位置付けがもっと明確であればより分かりやすかったと思います。</p>	-
<p>藤田先生の内容は、豊川と東三河の特性を、歴史的、現実的な事実に基づいて説明しており、分かりやすかった。</p> <p>蔵治先生の内容は、集水域など基本用語については分かりやすく説明していたが、それ以降の内容は個人的思いが強すぎる面を感じた。例えば、質疑応答で、「ダムがダメと言ったつもりはない」とは説明しつつ、p24の資料のように提供された情報に偏りがあると感じた。(出し方も含めて、ミスリーディングの恐れあり)</p>	-
<p>藤田先生： 内容については、流域全般にわたり良かったと思います。しかし、この内容は、このセミナーに参加しようとした人にとっては常識的なもので、流域外の人への参加を多く求めているように思われる。運営チームの方々は誰を対象と考えているのか不明です。</p> <p>蔵治先生： 私の知らなかった内容も多々あり、考えさせられる問題提起でした。ただ、非常に内容が多岐にわたり、消化不良。今後期待されます。</p>	-
<p>集水域管理、沿岸域総合管理、愛知目標を総合的に整理した講演をお願いしたい。</p>	-
<p>なかなか内容が良かった。</p>	-

ご感想・ご意見	講師の先生の回答
<p>極めて大切且つ大量の情報を短時間に話をしていただき、理解してゆくのに大変であったが、懸命に説明をして頂き「水循環」「ダム」と「東三河」の特長など理解を深める事が出来た。第2回目以降の議論が楽しみです。</p>	-
<p>資料もしっかり提供されており、良かった。 三河湾について最後に蔵治先生がふれられてくれたが、三河湾の昔を知っている者から見れば、今は死んだ海に近いということを真剣に考えていきたいと思えます。</p>	-
<p>豊川流域全体をテーマにしたことが良かったと思います。 近視眼的にダムだけ議論してはいけないと思います。 森林と水のことを蔵治さんが適切に説明されたことは良かったと思います。単に森がダムに代わることができると思っていた人には正しく理解されたと思います。ただ、海と川の関係では、矢作川なども含めた議論に広がっていくと思います。</p>	-
<p>流域の特性について、それぞれ2名の違う視点から話をされて興味深かった。 先生方の考え方も多く含まれており、どのような考えを持ちながら話を進められるのか、わかりやすかった。</p>	-

【セミナー運営に関するご感想・ご意見】

運営についてのご意見等	運営チームの回答
<p>第2回の講師の決定の仕方に疑問がある。 運営チーム会議では河川工学者として、ダム専門性と市民感覚の両方を踏まえて原田委員が推薦することになっていた。7/28AMの運営チーム会議では、京大名誉教授の今本委員を推薦する原田委員のペーパーが配布されたが、何故今本氏がダム事業について広く県民に正しく理解いただく河川工学者として適任なのか、全く説明がなかった。日本中の多くの河川工学者の中から何故彼なのか、運営チーム会議は説明責任がある。河川工学の論文などは公開されているから、どういう論文をもって彼を適任としたのか、他の候補者は誰であったのか、他の候補と比較してどういう点で彼が適任と判断したのか、何本の論文を比較したのか、事実に基づき的確に明らかにされたい。 本運営チーム会議は全て公開のこと、全て明らかにできるものと確信している。</p>	<p>次回の運営チーム会議で経緯について説明することにしたいと考えています。</p>
<p>難しい問題なので、反対する人達の意見、講演も平等に取り入れて、ダムの必要性の再検証する内容としていただきたい。 故郷の風景が水に沈むのは非常に辛い思いで参加しました。</p>	<p>設楽ダムに賛成、反対ではなく、東三河地域の現状に理解が深まるように企画していますので、ご理解をお願い致します。</p>
<p>人を集める努力と工夫をお願いします。</p>	<p>サイドイベント等工夫をしていますが、ご提案等ございましたら事務局にお願い致します。</p>
<p>難聴でつらい。でも少しでも知識の糧にします。 現在農業者でありますので、その立場で勉強し、正しい見識の仲間を増やしたいと思っています。豊川用水の原点は、高校生の時より父から聞いていました(政治的カケヒキも)ので、原点より現在の状況までわりと正見できると自身は思っている。水量は生活、生産のうえにはいくらあってもよいものですが、その費用を考えれば、現況がよいように思う① 生産者という立場から考えても現況が適当であると思う② もしもっと水が必要であれば、適地へ行けばよい③ ダム等での犠牲者(犠牲=負の面)を考えれば現状で努力した(検討)方がよい④</p>	<p>東三河地域の農業についてもセミナーで取り上げることにしていますので、参加していただければと思います。</p>

運営についてのご意見等	運営チームの回答
ユーストリームでの中継に加えて、ニコニコ生放送でも行っていただきたいです。	現状では、ユーストリームでの中継だけを行うこととしています。
次回のサイドイベント 楽しみにしています。	-
洪水の歴史や用水の使用状況について、教えて欲しかった。	豊川の洪水や用水の利用については、今後のセミナーで取り上げる予定にしています。
傍聴者も参加した討論をしてほしい。	質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。
今回の講座は、設楽ダムを前提にしたものなのか、あくまで豊川流域についての特性を知るものか中途半端 いろいろな立場、知識レベルの方に対して的を絞きれない。どのような方(対象)に対して、どのような課題(理解)を考えさせるのか明確にした方がよいと感じました。	設楽ダムに賛成、反対ではなく、東三河地域の現状に理解が深まるように企画していますので、ご理解をお願い致します。 今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。
ディスカッションの進め方を改善した方が良い。 意見をとりまとめた後、スライドに質問を整理して会場に示した方が質問者も解答者も理解しやすいと思う。	質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。
講演時間をもう少し長く(40~50分)して欲しかった。	今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。
先進的な取り組み 兵庫の武庫川ダム中止と総合治水条例をより詳細に説明して欲しいです。	-
・質疑応答の時間について、あわただし。 ・司会進行がおぼつかない。(ダラダラ…受講者に解りづらい) ・知的な質疑応答を望む。	質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。 今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。

運営についてのご意見等	運営チームの回答
<p>ファシリテータの方は、もう少しまとめて、質問できたらと思いました。</p>	<p>質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>この講座は設楽ダム建設を大前提にして、市民、住民にダム建設を理解させるためのものでしょうか。 ダム建設のための「住民の意見を聞きますよ」というアリバイ作りでしょうか。 今、豊川に魚がいなくなったり、アサリ、シジミが成育できなくなっています。私は危機的な状況だと思います。豊川の本来の流れを取り戻すためにはどうしたらよいか。 ダムは一部の人の利益のために作ろうとしています。東三河や豊川流域を科学的に(ダムを前提にしない)、豊かな自然を守るべきかななどを議論できる場になっていって欲しいと思います。</p>	<p>設楽ダムに賛成、反対ではなく、東三河地域の現状に理解が深まるように企画していますので、ご理解をお願い致します。</p>
<p>講師の方の講演時間がもう少し長くても良かったのではないかと思います。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>サイドイベントのおにぎりとしじみ汁、大変おいしく頂きました。 ただ残念な事に提供する時にこの地域で作られた食材で作ったとお話はありましたか。流域の関係や生産者の声(特に豊川からの恵み的な)をパネルにして提示すれば一層親しみが持てたのではないのでしょうか。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>時間を長くしてほしい。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>後ろから2列目の市議の方？が私語が多くて困りました。途中で退席されましたが。</p>	
<p>席だけでなく机があるとメモに楽だったと思います。</p>	<p>会場についても運営チームで議論していきたいと思っています。</p>

運営についてのご意見等	運営チームの回答
<p>200人弱ほどの人数ならば、会場意見をいくつか言えると良かったのでは？(1人2分以内などにして、長ければ強制終了させると説明付きでやれば時間的にも大丈夫ではないか。)</p> <p>周知宣伝がもっとあると良い。(参加者増を考えてほしい)</p>	<p>質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>これからの講座、楽しみにしています。勉強になります。ありがとうございました。</p> <p>質疑応答の時間を長くとももらい、有難いですが、その結果、講演時間が短くなってしまうのは、逆効果では？と感じました。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>①第2回は名古屋開催ですね。愛知県内全土で！！設楽ダムの地元を主に！！講座のテーマからは地元優先のような気もしますが！！</p>	<p>設楽ダムに賛成、反対ではなく、東三河地域の現状に理解が深まるように企画していますので、ご理解をお願い致します。</p> <p>3回目以降の開催場所についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・サイドイベントのしじみ汁は大変おいしかったです。 ・コーディネータの方は、短時間でのまとめご苦労様でした。 	<p style="text-align: center;">-</p>
<p>三遠南信について詳しく講義してほしい。</p>	<p style="text-align: center;">-</p>
<p>講演時間は、最少でも一人1時間は必要と思う。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>もっと、もっと一般の人の関心を持ってもらう工夫が必要。</p>	<p>サイドイベント等工夫をしていますが、ご提案等ございましたら事務局にお願い致します。</p>
<p>①サイドイベントの企画はよかった。おにぎり、しじみ汁、のり、佃煮、地元の食材、おいしかった。</p> <p>②質疑応答の場は理解を深めることができてよい。もう少し時間がとれるとよい。</p>	<p>質疑応答の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。</p>

運営についてのご意見等	運営チームの回答
必ずしも毎回出席できるわけではないので、資料はホームページでUPLしてほしい。	資料はホームページに掲載するようにします。今回の資料も掲載されています。セミナーの運営の仕方については、運営チームで議論していきたいと考えています。
設楽ダムが必要か、不必要かの論議を今後進めてほしい。	設楽ダムに賛成、反対ではなく、東三河地域の現状に理解が深まるように企画していますので、ご理解をお願い致します。
本日は流域全体のお話でしたが、セミナー全体での本日の講義の位置付けが少し不明確だったかと思います。本セミナーの全体のフローと本日の講義の位置付けをはじめに示していただけると理解がよりしやすかったと思います。	セミナーの全体像や各セミナーの位置付けについては、ホームページに掲載するようにします。
豊川河口での水、海水について興味あります。 ①アサリ、他生物の減少を気にするものですので、本当の設楽ダム建設はもっと悪質化が進んでしまうと思う。何でもダムありき、管理するのは無理では。	三河湾も取り上げたセミナーも企画していますので、ご参加ください。
本講座は、豊川に関係のない団体(リバーポリシーネットワーク)がパンフ配布などの活動する場として相応しくない。 次回の講座の講師として、今本氏が決定したと聞いたが、東三河に関係のない、特定の思想を持った人が何故講師になるのか、意図的に感じる。 講座開催場所は東三河の関係市町ですべき。名古屋は関係が薄い。	配布物は関係するものであれば、広く受け付けるようにしています。県民セミナーとしていることから、第2回は名古屋での開催としました。3回目以降の開催場所についても運営チームで議論していくようにします。次回の運営チーム会議で講師の選定経緯について説明することにしたいと考えています。
いいと思います。運営チーム会議は勉強になりました。	-
質問の内容を聞いている限り、もともと詳しい人しか参加していないように思える。 一般の方へのPRがもっと必要では？	サイドイベント等工夫をしていますが、ご提案等ございましたら事務局にお願い致します。
東三河地域と水の必要性(経済面、生態系での面で)もう少し深く知りたかった。	今後のセミナーで取り上げるようにしたいと考えています。

運営についてのご意見等	運営チームの回答
<p>個々の内容について、深めることができるとありがたいです。</p>	<p>今後のセミナーの講演時間等についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>・会場入口で「設楽ダムの建設中止を求める会」が資料配布していましたが、会の目的に反するのではないかと？ ・第2回目は名古屋で開催とのことですが、豊川流域の住民を参加させないようとの意図を感じます。</p>	<p>配布物は関係するものであれば、広く受け付けるようにしています。県民セミナーとしていることから、第2回は名古屋での開催としました。3回目以降の開催場所についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>本セミナーの狙いの一つは水循環の重要性の周知にあると思います。出来るだけ参加したいと思います。今後の開催予定のPRを宜しく願います。どこでどの程度の講座…などの大凡の構想はあるのですか？どのようなメディアを通じて知ることが出来ますか？</p>	<p>今後の予定につきましては、愛知県のホームページに掲載するとともに、各市町村の広報でもお知らせするようにしています。</p>
<p>設楽ダム建設準備が進展していますが、このセミナーを通してダムの必要性有無を考える良い機会となると思います。建設が進行する中、早急に判断しなければならぬ問題ですので、本セミナーの開催頻度を高めて頂きたいと思えます。また、地元の問題ですので、遠方(名古屋等)のセミナー開催ではなく、集まり易い地元開催を望みます。</p>	<p>準備もありますので、今後は、2ヶ月に一度程度の開催を考えています。また、3回目以降の開催場所についても運営チームで議論していくようにします。</p>
<p>運営に携われた先生方のご苦勞、お察しいたします。進め方として、非常に参考になりました。</p>	
<p>海を主役にしたセミナーも行ってほしい。(ダムが出来、三河湾に流れる水が少なくなれば、海は死の海にならないでしょうか？)</p>	<p>三河湾も取り上げたセミナーも企画していますので、ご参加ください。</p>